

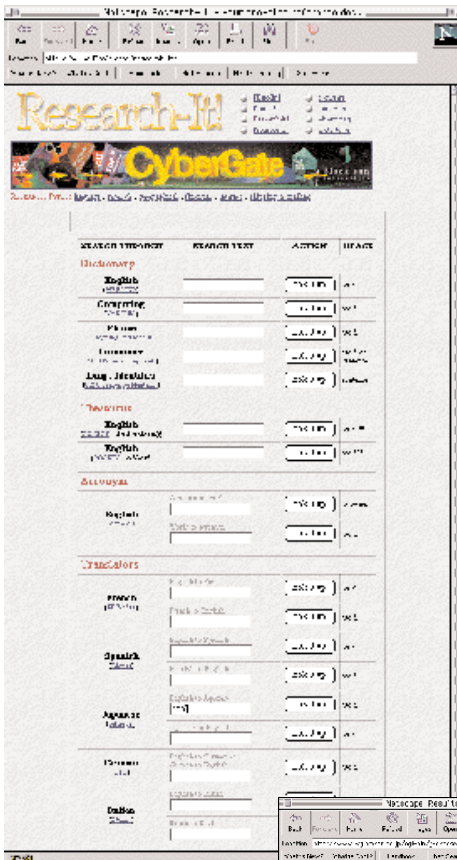
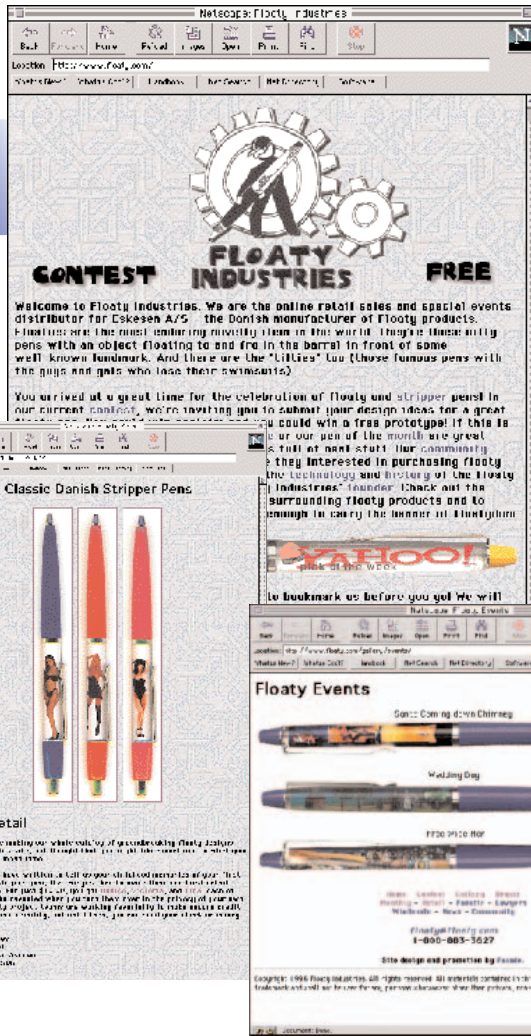
昔懐かしいセンスレスなお土産復活

Floaty Industries

URL <http://www.floaty.com/>

一時期、海外旅行の手軽なお土産として盛んに購入されたおかげで、しばらくの間「サイテー」なお土産としてバカにされていたのがこのチープなボールペン。正式名称は「Floaty」といって、どうやらデンマークが原産らしい。仕掛けは簡単で、透明な部分に液体とフィルムが入っており、傾けると重力によって中のフィルムが移動し、外から見える絵柄が変わるというもの。最も有名なのは「stripper」モデルで、水着の女性がペンの傾き具合でハダカになると

いうバカバかしいやつである。もう、とっくの昔に死に絶えたと思っていたら、ウェブ上に出現。新製品紹介(といってもあまり変わりばえしないが)やデザインコンテスト、フローティコミュニティというファンクラブまで結成している模様。「こんなものがねえ〜」と編集部で若手(?)編集者に見せたところ、これが意外に「面白い!」という……。このウェブページに載ったペンの写真を見て「懐かしい!」と思った人はかなりの年がもしれない。



オンラインで使う「なんでも辞書」

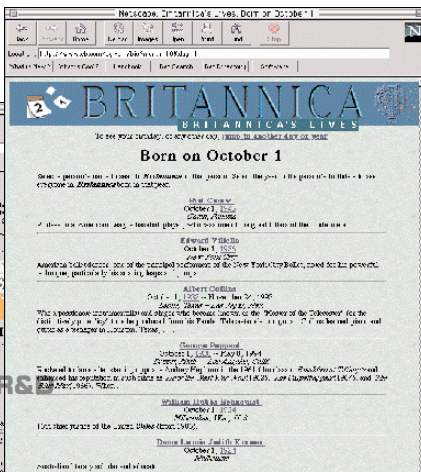
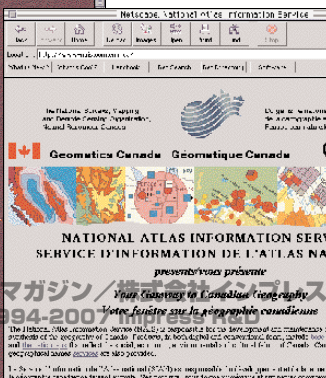
Research-It! - Your one-stop reference desk

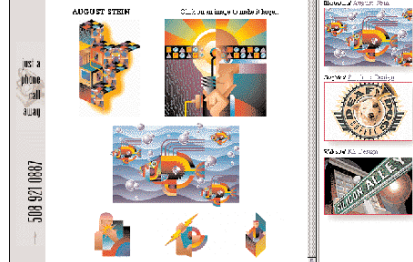
URL <http://www.iTools.com/research-it/>

この業界に入ったとき、「どんな辞書を持っているかで仕事の幅が決まってしまう。辞書はよいものを揃えるように」というアドバイスを受けたことがある。さて時が流れ、今やウェブを使えば膨大な量の情報が簡単に手に入るようになった(少なくとも英語圏では)。もちろんリファレンスの類も充実……という証明のようなウ

ェブがこのページ。収録されているのは、英英辞典、コンピュータ用語英語辞典、押韻辞典、発音辞典、言語辞典、シソーラス、同義語辞典、フランス語、スペイン語、日本語、ドイツ語、イタリア語と英語間での翻訳辞典、フランス語形変化辞典、アナグラム、人名辞典(生年月日や世代での検索も可能)パイブル

辞典、引用句辞典、地図、CIAのファクトブック、電話番号検索、通貨換算、株価、米国内の郵便番号、UPSやFEDEXのトラッキング問い合わせ... これらのウェブへのリンクがまとめられている。ここをブックマークしておけば、ほとんどのリファレンスはこなすことができる。英語圏ウェブ文化の底力を思い知らされるページだ。

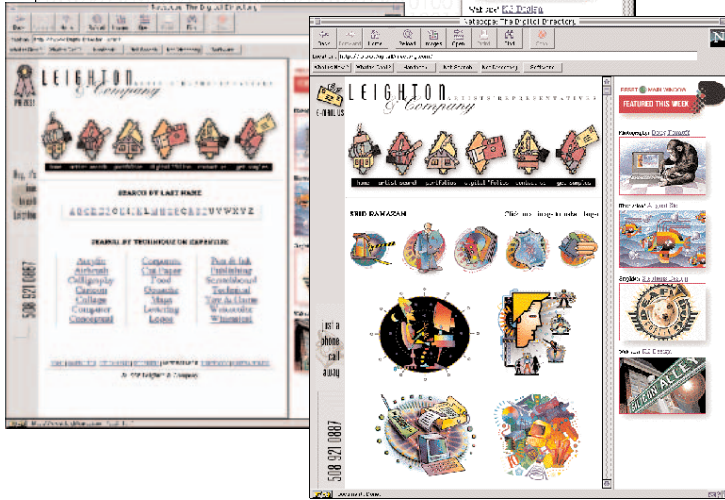
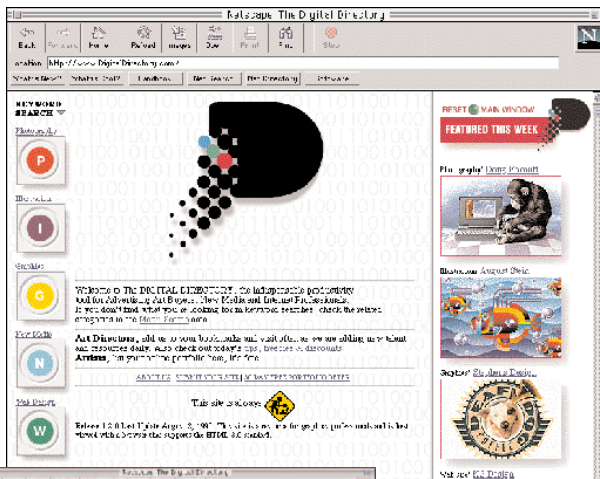




デジタルアーティストのポートフォリオ

The Digital Directory

URL <http://www.DigitalDirectory.com/>



写真やイラスト、グラフィックスやマルチメディア、ウェブデザインの世界中から収集したページ……という、何の面白味もない(いちおう作品を見る分にはそれなりに楽しめる)が、実はこのページ、自前できちんとした作品集を作って持ち込みのできないアーティストと、常に新しい才能を探している広告アーティストの出会いの場として設けられたもの。

アーティストは自分の作品をサーバーに置いてもらうか、ウェブページを持っているなら

登録を行うかする。一方、アーティストのほうは、ジャンルごとに設けられたキーワードと世界各地の地域を指定すると、該当するアーティストのリストが出て、サンプルや経歴などを見ることができる……はずだが、残念ながらまだまだ収録点数が少ないのが、ハズレが多い。日本でも同種の試みは始まっているが、すでにウェブが単純な一方通行の情報発信のためのページから、情報収集と編集、発信のための場となりつつあることを実感させてくれるウェブページである。

こんなライブな教材なら、きっと世界が楽しく見えてくる

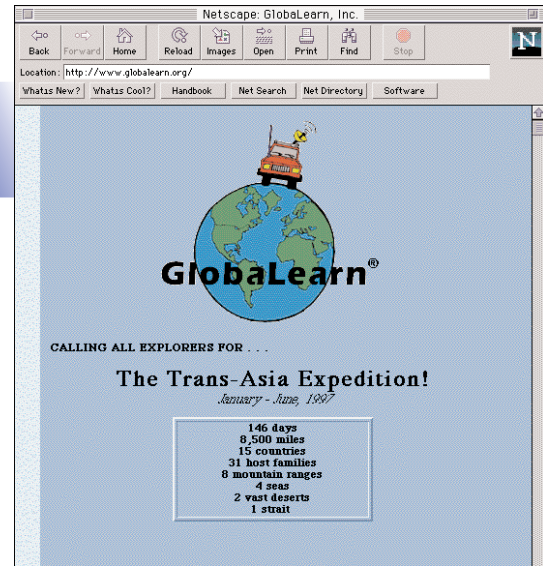
GlobeLearn, Inc.

URL <http://www.globalearn.org/>

インターネットを通じて世界中の子どもに世界市民意識を身につけてもらおうという趣旨で設けられたこのウェブ。世界各地を探検隊がホームステイしながら旅行し、各地の様態をその都度ウェブに掲載。一方、教室(小学校4~6年生)では、ウェブの内容を毎日見ながら、地理や歴史、社会の素材としてカリキュラムに組み込んで学習するという仕組みで、米国のみならず世界各

地の小学校が参加している。現在は5月まで行われた中央アジア黒海周辺諸国訪問の様子が掲載されているが、当日の気温や食事など、非常に細かいデータまで収められているので旅行記として見ても面白い。運営しているのは93年に設立された「Globelearn」という非営利団体で、プレジデントはなんと27歳の元小学校教師というから、いかにもアメリ

カっぽい話だ。来年には現代のマルコ・ポーロよろしく15か国、31ホストファミリーをたずねながらシルクロードを横断する予定だという。日本でも学校教育にインターネットを利用しようという計画があるようだが、これほどのコンテンツを揃えられるだろうか。よい意味での日米競争を期待したいものである。



- Learn more about the Trans-Asia Expedition.
- Teachers: [Sign up now](#) to join the Expedition in January.
- Visit our [Black Sea Nations Expedition](#) site from May, 1996!



最強のマルチメディア・プラグイン発表か？

RealAroma

URL <http://www.realaroma.com/>

数多くのマルチメディアアプリケーションが発表される中、「スライスチーズ以来の大発明」という謳い文句とともに登場したのが、この「RealAroma」。なんと「RATML (= Real Aroma Text Markup Language)」でおいを届けてしまうというドライバーだ。

瞬間消臭、モダンデザイン、SCSIインターフェイス装備、ファイアウォール対応、オープンアーキテクチャーの「リアルアロマ・ドライブ」を使えば、14.4Kの低速モデムでもおいを発生させることが可能。同社ではさらに今後も「SmellU-SmellMe」といった「おい」会議ソフトや「Real

Tyme Smell Encoder」などを発表する予定という。なお、デベロッパーのコーナーにはRATMLの拡張提案や、7ビットで定義される「System Smell」の128のレシピデータも公開されており、想像力と鼻の利く開発者には興味深いだろう(うゝむ、この文章、ちょっとニオイますね)。



ソフトウェア業界への圧力団体結成を目指すウェブページ？

Benchin' Software Review

URL [http://www.benchin.com/\\$index.wcgi](http://www.benchin.com/$index.wcgi)

簡単に言えば、市販されている数多くのソフトウェアの評価を購入前にチェックするためのデータベースだ。

利用者はソフト名や企業名などでデータを検索し、それぞれのソフトが、利便性、将来の可能性、扱いの容易さ、安定性などの面でどのように評価されているかを知ることができる。

これだけだと、どこかの雑誌

のウェブサイトが提供しているようなサービスだが、ユニークなのは評価を行っているのがすべてユーザーというところ。職業レビュアーの意見ではなく、個人的にソフトを購入し、実際に利用しているユーザーの意見をソフトメーカーに反映させようとして考えられたウェブという点が売り物だ。

利用は登録なしでも可能だが、登録して賛助会員になっ

たあと、25種のプロダクトレビューを行えば正会員になれる(「ベンチン・ビーニー」という冗談みたいなプロペラ付きの帽子のプレゼントもある)。ウェブデータの充実、ひいてはユーザー本位のソフト発展に貢献できるというわけだが、データを操作されるおそれはいや、そこは信じたものである。

今月のIM サイト 膨大なウェブ情報をスクリーニング

Mailing lists - PostMaster Direct

URL <http://www.netcreations.com/postdirect/>

毎日、何千もの新しい製品やサービス、イベントやウェブサイトが発表される昨今、情報もこれだけの量になるとノイズの嵐。この中から自分の気になる情報を確実に見つけ出すユーザーの苦勞は並大抵ではない。それでは……というわけで考えられたのがこのウェブページ。

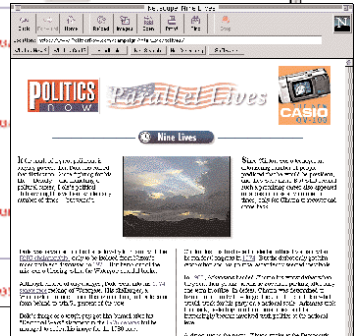
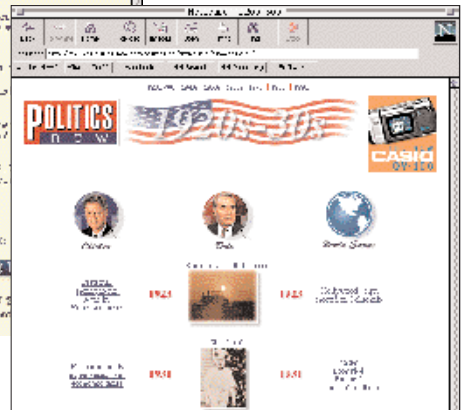
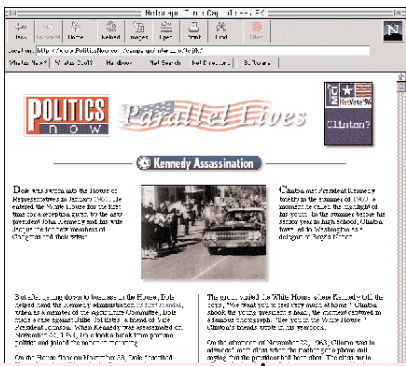
ユーザーは用意されたカテゴリーの中から自分の興味や

関心のあるものを選択し、逆に情報を送りたい側も自分の提供したい情報のカテゴリーを選ぶ。その結果、「送りたい情報を受け取りたい人の手元に届ける」という極めてシンプルな情報流通ルートが完成…

のはずだが、問題も多い。まず、カテゴリー数が1000以上。さらに情報を求める側が正確に自分の興味を登録したとしても、送り手の側はよ

り大きな集合でカテゴリーを登録するおそれがある(しかし、ジャンクメールと判断されればそれなりに悪評が立つはずだから、そんな危険はない?)。という具合に結果はどうなるかわからないが、とりあえず虎穴に入らずんば虎児を得ず(?)。ジャンクメールを恐れない人は、新しい試みとしてトライしてみる価値はあるかもしれない。





11月に行われる世界最大の政治ショー(?)米国大統領選挙。原稿執筆時点の世論調査ではドール候補の追い上げが伝えられているが、クリントンとドールの対決になることは明らかなだ。それにしても、片や「ベビーブーマー」の現職クリントンに対して「GI世代」の対立候補ドールと、この2人、かなり明確な違いがある。それを並べて見比べてみようというのがこのページのねらい。1920年代から90年代まで

(といっても、クリントンは1946年生まれ)時代ごとに世界のイベントと照らし合わせながら、彼ら2人やその家族がそれぞれ何をしてきたのかを、豊富なマルチメディアアーカイブを使って検証することができる。特に、ケネディ大統領暗殺など、政治的なイベントへの関係を検証した「Time Capsule」や、彼らの打たれ強さをまとめた「Nine Lives」はある程度、年のいった世代なら楽しめるに違いない。

2人の大統領候補の世代ギャップを検証

Front Page

URL http://www.PoliticsNow.com/campaign/inter_bio/front/

病院の情報化はこうあってほしい

Holy Name Hospital

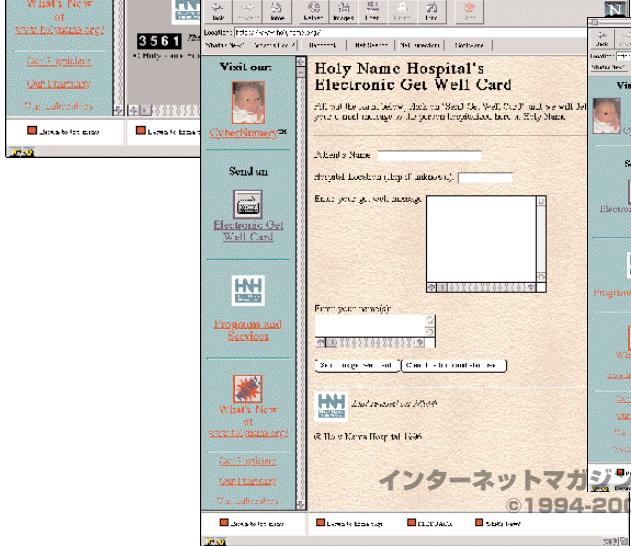
URL <http://www.holyname.org/>



企業や組織の情報化というと、ついつい事務処理系の合理化に目が向いてしまいがちだが、インターネットを導入するのであればもっと別の展開があるはず。そんな素朴な疑問にクリーンヒットを飛ばしてくれたのが米国はニュージャージー州にあるこの病院のウェブページ。

ふつうの病院が行うような健康相談や医療情報サービスを提供しているはもちろんだが、「サイバー保育園」というページでは、同病院で生まれたばかりの赤ちゃんと誇らしげな両親や兄弟たちの写真を世界に向けて発信。さらに入

院患者へのお見舞いメールも受け付けている。ネットワーク設計者は、技術の専門家である以前に人間の専門家であるべきことを端的に語るスマートなインターネットアプリケーションだ。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp